

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	徘徊高齢者家族支援事業	所管	保健福祉部 高齢者支援課
			TEL 2998-9120

事業の目的 (何の為に 行うか)	徘徊行動のある高齢者の早期保護と安全確保を行うことによって、当該高齢者を養護する家族の肉体的・精神的負担の軽減および安心して介護ができる環境整備の促進を目的とする。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としているか)	市内に住所を有する認知症により徘徊行動のある65歳以上の高齢者を養護する者。	対象とした数	617	人
		実際に 利用した数	12	人

活動の内容	(何を したか)	徘徊行動のある高齢者を養護する家族に対し、GPSを利用した位置検索システム機器を貸与し、予め高齢者が端末機器を携帯することによって徘徊の際高齢者の現在位置を確認し、必要に応じて委託事業者を徘徊高齢者の現在位置まで派遣するもの。							
活動実績	項目名	①市内の歩行可能な認知症高齢者数	617	項目名	②利用者数	12	項目名		単位
			----- 単位 人			----- 単位 件			

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	243	163	2,463	7.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	利用率(%)	②/①×100	3	1.9	63.3
			----- 単位 %	----- 単位 %	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
		予算	現状どおり 増額 減額 終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	04040	TEL	2998-9120
事業コード	徘徊高齢者家族支援事業					
040404						
開始年度		平成 15 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			所沢市徘徊高齢者家族支援事業実施要綱				
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	3節 高齢者福祉	中柱	1いきいきと暮らすための支援・サービスの充実	小柱	(2)在宅介護支援対策の充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 1 位				・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○		

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に) 徘徊行動のある高齢者の早期保護と安全確保を行うことにより、当該高齢者を養護する家族の肉体的・精神的負担の軽減および安心して介護ができる環境整備の促進を目的とする。									
	対象(誰を、何を対象としているのか) 市内に住所を有する認知症により徘徊行動のある65歳以上の高齢者を養護する者。					利用数の考え方 当該事業を利用した延べ人数				
	対象数	単位	平成 18 年度	617	人	利用数	単位	平成 18 年度	12	人
			平成 19 年度	658	人			平成 19 年度	11	人
	事業の具体的な内容及び実施方法 徘徊行動のある高齢者を養護する家族に対し、GPSを利用した位置検察システム機器を貸与し、予め高齢者が端末機器を携帯することによって徘徊の際高齢者の現在位置を確認し、必要に応じて委託事業者を徘徊高齢者の現在位置まで派遣するもの。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
平成19年度中に改善した点 当市広報・ホームページ、民生委員、地域包括支援センター等を通じての周知を実施										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		243	243	172
	決算 (見込み含む)		163	125	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費		0.25 人 2,300	0.11 人 1,033	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		2,463	1,158	
	財源内訳	一般財源	2,340	1,045	76
		国・県支出金			
		受益者負担金	123	113	96
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)	7.3	3.4		
	利用数一単位あたり(単位:円)	205,250.0	105,303.6		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	①市内の歩行可能な認知症高齢者数	要援護高齢者調査	人	617	658	701	
		②利用者数	当該制度の延べ利用件	件	12	11	13	
	成果分析	利用率(%)	②/①×100		目標値	3.0	3.0	3.0
		%	達成率		実績	1.9	1.6	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 所沢市
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	認知症の特性から徘徊行動の時期は短期間であるため利用者数は大きく伸びないが、家族には大きな安心感を提供している。	見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	今期目標項目(何を)	広報・ホームページ等を通じて市民への周知を図る。	達成水準(どこまで)	制度を必要とする人に対する情報提供
平成21年度における事業の方向性	平成20年度における目標設定	平成21年度	時期(いつまで)	平成21年3月
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	高齢化の進展から今後も徘徊行動のある認知症高齢者が増加することが予想され、当該高齢者の家族の負担を減らし安心感を提供するために重要な事業となる。引き続き当制度を必要とする家族へ広報や地域包括支援センター等を通じて周知が必要である。			
評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	高齢者支援課長 鏡 諭	

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了			
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	評価理由				
	評価日				
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			